



鳥取大学 (鳥取県)



学内外での交流を通して、実践的な日本語力を身につけ、日本文化・地域文化について幅広く学びます。

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

鳥取大学は「知と実践の融合」を教育理念とし、地域社会との連携を重視する実学に秀でた大学です。学部構成は、地域学部、医学部、工学部、農学部の4学部からなり、いずれの学部においても知識と共に実践的な能力を養うことに力を注いでいます。研究面でもCOEの採択もあり、その活動は高く評価されています。また、地域学部は、地域学を前面に出した国内でも数少ない学部であり、東アジアを中心とする地域研究も進めています。

文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」(2012年～2016年)に採択された実績があり、グローバル人材の育成に力を入れています。

全ての日本語授業には、常に数名の日本人学生がボランティア参加しています。また、留学生と日本人学生による国際交流チーム(交流の場の企画・運営を行う)もあり、日本人学生との交流の機会が多くあります。

* 学生数・教員数 (2020年5月1日現在)

学部学生数: 5,159名

大学院生数: 982名

教員数: 830名

② 国際交流の実績

学術交流協定校・機関数: 103 (31の国・地域)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2020年: 留学生数 160人、日研生 1人

2019年: 留学生数 163人、日研生 1人

2018年: 留学生数 180人、日研生 1人

④ 地域の特徴

鳥取は、自然が豊かで静かな所で、勉学に取り組むのにとよい環境です。海や山があり、新鮮な食材(野菜・魚・肉)も豊富で、物価が安いので生活しやすい地域です。地元の人は皆、親切で温かいので、地域での交流の場にも参加しやすいです。また、大阪、京都などの有名な大都市には、電車やバスで3時間程度で行けます。



鳥取大学正門



鳥取砂丘



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

科目選択の自由度が高く、研修生の希望により、「日本語」に重点を置いて学ぶことも「日本文化」に重点を置いて学ぶこともできます。地域の行事に参加できる機会が多く、地域社会をより深く理解することができます。

③ 受入定員

8名(大使館推薦6名、大学推薦2名)

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・本国において、日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学する者
- ・積極的に日本の文化・社会を理解し、自らの文化を発信しようとする姿勢を持つ者

⑤ 達成目標

- ・実践的な日本語力を習得すること
- ・興味のあるテーマについて、研究計画を進めその成果を発信できるようになること

⑥ 研修期間(在籍期間)

2021年10月上旬 ~ 2022年9月下旬
(2021年10月1日 ~ 2022年9月30日)

⑦ 奨学金支給期間

2021年10月 ~ 2022年9月

⑧ 研修・年間スケジュール（予定）

9月下旬：渡日（2020年は9月26日）

10月 開講式
新規留学生オリエンテーション



12月 留学生を囲む集い（学長主催）



1月 修了課題テーマ決定

2月 大山スキー研修

3月 京都研修旅行



7月 留学生のためのゆかた着付け教室



8月 修了発表会

鳥取しゃんしゃん祭「一斉傘踊り」参加



9月 閉講式

*その他

- ・農作業体験（年に数回）
- ・小・中・高校での交流会（随時）
- ・地域の国際交流団体や学内の国際交流
- ・サークルのイベント（随時）



9月下旬 帰国（2020年は9月20日）

⑨ コースの修了要件

必修8科目、選択4科目以上の合計12科目以上を履修し、かつ日本語・日本文化研修留学生修了課題（レポート）を完成した学生に対し、修了証を授与します。

全学共通科目及び学部専門科目については単位を付与します。（大学推薦の学生は単位互換が可能です。）単位が付与されない科目については、成績証明書を発行します。



⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

全学共通科目や学部専門科目、国際交流センターで開設する科目の中から、研修生の興味関心に合わせて、自由に科目を選択することができます。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目（8科目）

<全学共通科目>

- ・日本語実践I、II
大学生活で必要となるアカデミックスキルを、実践を通して身につけます。
- ・日本語の表現技法I、II
学習者同士で話し合いながら、伝えたいことを口頭や文章でより適切に表現する方法を学びます。

<目的別日本語コース>

- ・論文演習I、II
様々なテーマについて、自分の意見を口頭や文章で発表します。後半は、各自のテーマで研究を進め、修了発表を行い、研究レポートを日本語で作成します。
- ・ケースで学ぶ異文化コミュニケーションI、II
異文化接触の事例を題材としてケース型教材を用いて、異文化理解と日本語コミュニケーション力の向上を目指します。

Ⅱ) 選択科目 (4科目以上) <全学共通科目>

- ・日本文化事情I、II
- ・日本社会事情I、II

幅広い観点からの講義や、自分たちで設定したテーマについて調査を行うことによって、日本の事情を深く理解することができます。

<総合日本語コース>

プレースメントテストでレベルを判断し、それぞれのレベルに合わせて、総合的な日本語能力を身につけます。

<学部専門科目>

指導教員と相談し、地域学部の授業の中から、学生に合ったものを選択します。

※修了研究の内容

日本語・日本文化研修留学生修了課題 (レポート)

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

- ・日本文化事情 (全学共通科目)
- ・日本社会事情 (全学共通科目)

いずれも、講義・ディスカッションと、見学や交流を有機的に結びつけて授業を行います。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

日本語授業の全てに、日本人学生がサポート参加しています。また、国際交流チームがあり、日本人学生とチームを組んで国際交流活動ができます。

スキー研修・ゆかた着付け教室・田植え/稲刈り体験・砂丘清掃ボランティア等地域社会と連携して実施している様々な行事にも参加し、日本人学生との交流や、日本文化の体験をすることができます。

① 指導体制

学生の興味のある分野に合わせて、地域学部の教員が指導教員になります。

また、国際交流センターでも、研修生それぞれに担当教員がつき、必要に応じて生活・教育支援を行います。

■ 宿 舎

名 称： 鳥取大学国際交流会館

所在地： 〒680-0947 鳥取市湖山町西4-110

電 話： 0857-28-4808

ホームページ：<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/students-housing-dormitory>

構 造： 鉄筋コンクリート5階建て

部屋数： 1人部屋50室、2人部屋6室、3人部屋3室

その他：

室内には、ベッド、机、椅子、エアコン、書棚、洋服ダンス、シューズボックス、電気スタンド、電気ポットがあります。共同設備として、キッチン、シャワー一室、洗濯室、ラウンジ、和室があります。

コンビニエンスストア、スーパーマーケットまで徒歩15分です。



■ 修了生へのフォローアップ

修了後は、メールやSNSなどを活用し、その後のキャリアパス (進学・就職) について等、相談に応じます。

■ 問合せ先

<担当部署>

鳥取大学 学生部国際交流課

住所：〒680-8550

鳥取市湖山町南4丁目101

TEL：+81-857-31-5056 (直通)

FAX：+81-857-31-6065

E-mail：kokuko-gaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp

鳥取大学 地域学部教務係

住所：〒680-8551

鳥取市湖山町南4丁目101

TEL：+81-857-31-5077 (直通)

FAX：+81-857-31-5076

E-mail：reg-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

<ウェブサイト>

鳥取大学国際交流センターホームページ

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja>

(留学生向けホームページ)

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/international-students>

鳥取大学ホームページ

<http://www.tottori-u.ac.jp/>

